

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	大宮公園サッカー場
(2)施設概要	①所在地 さいたま市大宮区高鼻町4丁目地内 ②施設の設置目的 地域スポーツの振興及び地域の活性化並びに青少年の健全な育成を図るため ③施設の概要 サッカー専用スタジアム
(3)指定管理者	NTTグループ・オリエンタルコンサルタンツ大宮公園サッカー場マネジメント共同事業体
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②指定管理料 令和6年度62,706千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 264,977人 ◇業務実施状況 ・施設維持管理業務 ・利用者受付業務 ・業務仕様書及び事業計画書に基づく業務 ②維持管理業務の状況 ●施設管理業務 工作物点検(安全点検:外観点検、雨水排水点検等)雨水排水設備、園内巡視等 ●運動施設管理 ・グラウンド・スタンド管理:芝生管理(芝刈り、サッチング、ブラッシング、転圧、施肥、土壌改良材散布、蒸散抑制剤散布、殺菌・殺虫剤散布、目土(砂)散布、エアレーション、スパイクング、バーチカルカット、エッジカット、オーバーシード、ディポット補修、芝補植、散水、シート養生、ゴール設置・撤去、ライン引き等) ・法定点検及び定期点検:消防設備等点検、自家用発電機点検、建物点検、空気環境測定、ガス設備保守点検、音響設備保守点検、災害用井戸設備点検、自動ドア設備保守点検等 ・施設管理・点検:スプリンクラー設備、シャッター設備、監視カメラ、膜屋根、大型映像装置、照明塔、昇降機の月次点検、昇降機の定期点検、日常施設管理、 ・施設清掃:定期清掃:床清掃、サッシ、ガラス清掃、照明清掃、消毒、スタンド清掃、スタンド特別清掃、日常清掃、トイレ清掃等 ●清掃管理 ・園内清掃(定期・日常清掃:園内、駐車場、落ち葉等) ・工作物清掃(休養、運動、便益、管理施設等) ・ゴミ処理(定期:園内、産業廃棄物等)その他(害虫駆除等) ●植栽管理・樹木管理(剪定、刈込等)

	③その他の業務 自主事業の実施 ・DX健康体カテスト(体カテストや各種スポーツが体験出来るイベント) ・全員集合！オープン防災フェスタ(楽しく防災を学ぶイベント及び夜間の飲食提供) ・サステナブル・スタジアムIN WEACTION DAY(清掃活動や防災訓練を実施し「地域にとって必要なスタジアム」を体感して頂くイベント) ・インクルーシブスポーツフェスタ(様々なスポーツを楽しむイベント。キッチンカー出店) ・ウエディングフォト ・社会科見学 ・スタジアムツアー
(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 57,982千円 ・指定管理料 62,706千円 ・その他収入 12,037千円 ②支出 ・人件費 8,000千円 ・事務費 19,169千円 ・施設管理費 105,556千円 【自主事業】 ①収入 3,986千円 ②支出 3,986千円
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	中規模自主事業イベントを3回(5/26・9/22・2/11)行い、アンケートを実施(総数250件)、いずれも満足度95%以上との結果が出ている。 また、2月から始めたスタジアムツアーでも毎回アンケートを実施(総数110件)こちらも毎回満足度95%以上の結果が出ている。 アンケートでは、好意的なコメントがほとんどで、意見・要望は、ほぼないが、スタジアムツアーの設問の中で「芝に入りたいか?」「芝でボールを蹴りたいか?」「RB大宮アルディージャの選手を活用したコンテンツ」などの選択肢への回答率が高いため、今後、実現に向け検討・調整していく。 なお、当該施設の主な利用者であるRB大宮アルディージャとは、定期的に打ち合わせを行い、適宜意見要望に対応している。(例:スピーカーの音が小さいとの要望をうけて、主たる利用者であるRB大宮アルディージャと連携し、試合時のみの仮設のスピーカーを活用(費用は利用者負担)することで、音質が向上した。)
(8)その他	特になし

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
安全・安心で快適な管理運営を行う。	● 建築物等保守管理業務 各種法令等を遵守し適正に点検等を行い、必要に応じて保守その他の措置を実施し、良好な状態を維持(定期日常点検、法定点検)することで、安心安全な施設管理を実施した。 ● 清掃管理業務 定期的、及び必要に応じて随時に、各種施設清掃、園内清掃、排水設備清掃、トイレ・シャワー・更衣室清掃、廃棄物処理業務、環境衛生管理業務等を実施し、美観維持に努め、清潔を保つ快適な施設管理を実施した。 ● 保安警備業務 施設開館中の定期的な巡回、閉館前の施錠管理や閉館中の機械警備等を実施し、安心安全な施設管理を実施した。 ● サッカー場フィールド管理業務 市民の利用機会の創出とプロサッカーで求められる品質を両立、競技者の満足度を担保できるよう、利用頻度と維持管理コストのバランスに注視した維持管理を実施した。また、市民の利用機会の創出及び安全・安心で快適な管理運営を実施した。 ● 植栽管理業務 5年間の管理計画を策定し、計画に基づき、目視による点検及び必要に応じた剪定等を実施した。倒木や落枝を防ぎ、利用者の安全を確保する管理運営を実施した。 ● 修繕業務 日常、定期的な点検等により、施設・設備等の破損、損壊、老朽化等不具合の早期発見に努め、修繕が必要な施設・設備について速やかな対応を実施した。 各所トイレ、各所照明、スプリンクラー等の修繕を実施し、安心安全な施設管理を実施した。
サッカーを核としたスポーツを活用したまちづくりを具現化すべく、管理運営を行う。	・フィールド:プロリーグ以外に埼玉県及び関東中学校サッカー大会、埼玉県及び全国高校サッカー選手権、さいたま市実施のスマイルプロジェクト(女子中学生のサッカー支援プロジェクト)や韓国・水原市 国際交流親善試合にて利用。 ・フィールド以外:さいたま市主催、さいたま市内自治体等でのイベント、研修等での利用機会を創出した。 →J及びWEのプロリーグ、カップ戦に加え、上記大会の開催も行い、開かれたサッカー場、サッカーを核としたまちづくりの具現化の推進に努めた。
サッカーを核としたスポーツを活用したまちづくりを具現できるような自主事業を行う。	上記プロを除くサッカー利用以外に、スポーツを活用した自主事業を企画し実施した。 ・DX健康体カテスト(体カテストや各種スポーツが体験出来るイベント) ・インクルーシブスポーツフェスタ(アーバンスポーツ(ブレイキン、スケボー等)、パラスポーツ(ブラインドサッカー、ロービジョンフットサル等)等25種のスポーツを楽しむイベント)を開催し、多くの方に来場いただき、サッカーを核としたスポーツを活用したまちづくりの具現化を達成した。

施設の特徴を活かした教室やイベントを企画し、より多くの市民に利用される公園施設を目指す	サッカー場、RB大宮アルディージャの本拠地のサッカー場という特色を生かした自主事業として、 ・ウエディングフォト(サッカーファンやRB大宮アルディージャサポーターの方の結婚式の前撮り写真の場として利用) ・スタジアムツアー・社会科見学(普段の観戦時には見ることのできない控室等の見学ツアー(解説付き)) を企画、開催し、多くの方に参加いただき、市民等に広く利用される施設に向けた取り組みを推進した。
--	--

3 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・J及びWEのプロリーグ、カップ戦の過密スケジュールの中、中学、高校、その他のサッカー大会の利用機会を創出すると共に、一般の方からのピッチの利用希望においてもさいたま市「天然芝サッカー場の利用に係る手引き」に基づき、適切に回答を実施することで、平等利用、市民サービスの向上、利用促進に努めた。 ・市内企業、学校等と連携したイベント・企画を実施し、市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取り組みを実施した。 ・「ミュージアムヴィレッジ大宮」の連絡協議会に参加し、大宮公園サッカー場を含む大宮公園周辺の活性化、及び、市民サービスの向上、利用促進に努めた。(例:さいたま市内公共施設と連携したイベント(例:スタンプラリー等)に参画) 【経費の節減】 ・最大電力kwhの見直しによる電気代削減 ・軽微な修繕について職員による補修を積極的に実施することで経費削減に努めた。 【適正な管理運営の確保】 「建築物等保守管理」「清掃管理」「保安警備」「サッカー場フィールド管理」「植栽管理」「修繕」及び「PMO(=プロジェクトマネジメントオフィス:JV全体を組織的に支援・統制する役割を担う)」業務において、JV各社において協定書、事業計画書、管理基準表等に基づき適正に管理運営を実施した。また、JV内で施設内の施設管理/清掃/芝管理等について定期的に打合せを行い、施設の使命の一つであるサービス向上に努めることで、適正な管理運営を確保した。
--

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A~D 1 項目別評価 【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・サッカー場の特色を生かしたウエディングフォトやスタジアムツアーの企画、実施を行ったほか、防災フェスタやサステナブル・スタジアムIN WEACTION DAYのイベント開催により、サッカー以外に市民の方も施設に親しむ機会を作り出し、地域活性化に寄与した。 【経費の節減】 ・電力の見直しや軽微な修繕は職員で行うなど、無駄のない予算執行を行い経費の削減に努めた。 【適正な管理運営の確保】 ・「天然芝サッカー場の利用に係る手引き」や協定書、管理基準表に基づいた施設点検等の実施や指定管理者内で定期的に打合せを行い、懸念事項の共有を図るなど適正な管理運営に努めた。 2 総合評価 ・サッカーに関する利用だけでなく、市内企業や学校等と連携したイベントを実施し、サッカー以外の市民の方も施設に親しむ機会を作り出し、地域活性化及び利用促進を図った。 ・協定書や管理基準表等をもとに適正な施設管理が行われた。
--

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認